

S S T L

NO. 51 2016. 11. 18

職場参加ニュース

仕事おこしと職場参加 コラボで共に働く街を

主婦たちの店・NPO と連携 ランチカフェどっこいしょ 12月15日(木)11じ~15じ

ハローワークのはす向かい、世一緒をこの日はオープンにします。障害のあるなし関係なし。どっこいしょと腰をおちつけて、お昼ごはんと午後のおしゃべりを楽しみませんか
ただしご予約を。048-964-1819

Lunch Café どっこいしょ

とき：12月15日(木) 11時から15時

ところ：世一緒(ハローワーク越谷はす向かい)

ねだん：キーマカレーとコーヒー付 300円

主催・NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会



「Lunch Café どっこいしょ」は、NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会が「仕事おこし懇談会 in こしがや」の「キッチンとまと」、「さいたま NPO センター越谷支部」、「NPO 法人ファミリーリンク越谷」などのみなさまの応援を受けて、当会の活動の場「世一緒」でひらく一日食堂です。



12. 18 共に働く街を創るつどい 「共に働いて地域を耕す」 越谷市中央市民会館 5F 2, 3会議室 13:15~ 手話通訳依頼予定 有料駐車場有 (開会前 13:00~13:15 臨時総会開催)

主催・NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会

「Lunch Café どっこいしょ」は、主婦たちが立ち上げたワーカーズコレクティブの草分け「キッチンとまと」や「さいたま NPO センター越谷事務所」、「NPO 法人ファミリーリンク越谷」他と当会などの連携組織「仕事おこし懇談会 in こしがや」の応援を受けて取り組みます。さらに、来年も各団体の事業と当会の職場参加の連携を探ります。「共に働く街を創るつどい」では、NPO 法人やまぼうし理事長・伊藤勲さん(上写真・円内)をお招きし、農と食を軸に障害者を含むさまざまな人々が共に働く地域を切り拓いてきた「スローワールド事業」などの先駆的な事例を学びたいと考えています。



共に働く街を創るつどい2016

共に働いて地域を耕す



と き 2016年12月18日(日)13:15~16:15

ところ 越谷市中央市民会館 5F 2,3会議室
て一ま 一緒に働いて、共に暮らしあう街づくりを
かいひ 会員 :500円
非会員:600円

(資料代共) 手話通訳依頼中



特別報告:「自然と人の共生の地域を拓くネットワーク」
NPO 法人やまぼうし理事長 伊藤勲さん

パネル討論 : 伊藤勲さん、須長こうさん(企業組合キッチンとまと代表)、
企業で働く障害者(野村さん、天野さん)、山田浩嗣さん(ワーカーズ
コープ・ひよせ 農業担当)、当会

コーディネーター:朝日雅也さん(埼玉県立大学教授)

コメンテーター:越谷市(調整中)

主催:NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会

後援:越谷市・春日部市(依頼中)

12.18 共に働く街を創るつどい 「共に働いて地域を耕す」

職場参加のこれまでの成果と職場・地域の変化



当会は、福祉や医療の対象とされた障害者もさまざまな方法を工夫して地域の職場に参加してゆくこと、また職場の側からも参加を受け止めてゆくことを「職場参加」と名付け、地域、自治体に提起してきました。その中で、越谷市障害者地域適応支援事業や越谷市障害者就労支援事業が実現し、一定の成果を上げてきました。

しかし、就労・参加してゆく職場の状況は、近年大きく変化し続けています。かつて障害者就労の主要な受け皿だった地元の小企業や商店、そして農業の衰退が著しく、新たな分野での事業所数が増えているといわれる一方で、そこでも倒産や長期休業が増えている状況があります。大企業も含めて非正規雇用が約4割となる中、正規社員も含むブラック化も目立っています。

支援のジレンマをどうこえ、どうつなげるか



こうした職場状況の変化の下、少子高齢化に伴う教育、雇用、福祉制度の改定が矢継ぎ早に行われ、従来の障害児者だけでなく、「発達障害」とされた子どもや大人、ひきこもりの若者、生活困窮家庭の子どもや大人に向けての支援が施策化されてきました。ただ、支援が整えば整うほど、制度に合わせて人が別々の閉ざされた世界に分け隔てられることも避けられません。

支援制度をどう活用するかの前に、現在の職場、地域とどう向き合い、そこに参加することによってどのような職場・地域を切り拓いてゆきたいのかを、自らに問いかける必要があります。

かつて制度が何もない時代、この越谷で障害者と支援者によるリサイクル・自然食の店が開店しました。数年後、経営が厳しくなった時、半分のスペースを生協に関する主婦たちのワーカーズコレクティブの店とシェアしました。やがて障害者の店は閉じられましたが、その経験は社会福祉法人つぐみ共生会やNPO法人共に生きる街づくりセンターかがし座の販売活動に受け継がれています。

いっぽう、主婦たちは、相変わらず制度がない中、自分たちの暮らしづらさ、働きづらさの感覚を大事に、子どもや高齢者を含めてみんなが共に生きる街づくりを探る小さな事業所を、あちこちで取り組み続けています。

仕事おこしと職場参加で街にそよ風を！



当会は、「いま『協同』がつくる2012全国集会」が埼玉で開催されたことを機に、仕事おこし懇談会in越谷を主婦、高齢者、困窮者等の市民団体とともに結成し、協同まつりや越谷・水辺の市などで協力し合ってきました。今後、一歩進めて、これらの団体の仕事おこしと連携して職場参加の取り組みを具体化してゆきたいと考えています。

今回のつどいでは、東京都日野市のNPO法人やまぼうし理事長・伊藤勲さんに特別報告をいただきます。同法人は、現在のように「農福連携」が叫ばれる前から、障害者の暮らし、仕事を里山や清流、そこでの農と食という視野で取組み、さらに高齢化、過疎化してゆく地域や都心から移転してきた大学の課題などと向き合い活動されてきました。そして、「スローワールド事業」という街づくりを、さまざまな障害福祉サービスも活用して進めておられます。同市の障害者生活・就労支援事業所「くらしごと」も受託運営しています。日野の事例を参考に、さまざまな人々の働きづらさ、生きづらさを糧として、誰もがあたりまえに一緒に生きる仕事や街のありかたを考えましょう。地場産業をはじめ企業や自治体とも一緒に考え合しましょう。

暮らしに根ざした仕事おこしと職場参加を両輪に、街にそよ風を！

職場・地域ひろがり つうしん

水上公園に秋の花植え共同作業で



9月26日、しらこぼと水上公園の花壇を秋の花に植え替える共同作業が33人で行われました。世一緒スタッフ、サポーターのほか、就労A、就労B(2施設)、生活介護(2施設)、院内テイクケアから利用者、職員のみなさんが参加しました。写真は作業の終わりにいつも開いている反省会。右手前の作業服姿は、公益財団法人埼玉県公園緑地協会本部の技術部園地課の小林さんです。同協会が管理する県立公園で障害者が花壇で働いているのはここだけで、他は協会職員かボランティアだそうです。以前から大きな作業の時はしばしば本部から参加していただき、何人か顔なじみもできるといったおつきあいをベースに仕事をさせていただいています。

沖山さん招き就労支援の今昔学ぶ



9月30日、第52回共に働く街を拓くべんきょう会が開かれ、就労支援センター前所長の沖山稚子さんが、「就労支援—変わったこと・変わらないこと」と題して話されました。変わったこととしては、職安、学校、福祉的就労の場に等しく言えることとして、地域に密着して事業所開拓をするパワーが衰え、制度的支援を頼りにする傾向が強まったこと。でも就職活動は打算的活動なので、使えるものは何でも使えばいい、制度の限界をわきまえてと。

1,984年8月24日第三種郵便物承認
変わらないことは、就職は働きたい者と雇用しようとする事業所の相互作用という構造。職場体験、実習を通し事業所との関係を切り拓くよりも、支援施設・機関での訓練、アセスメント、相談に偏りがちな近年の状況への批判が込められていました。

幟り旗、ライブで賑わう水辺の市



10月から越谷・水辺の市に幟旗と横断幕が登場し、にぎやかな風景になりました。デザインは、プロの岡田さん(合同会社ローカル・アクセス)が無料で手掛けた。岡田さん自身も時々この市に自ら生産したシタケなどの店を出しています。借りている農地をさらに広げ、障害者にも手伝ってもらえる仕事にしたいと抱負を語っていました。

—昨年秋からのこの市は、市役所東側のウッドデッキで毎月火曜10:00~15:00開催が原則。主催団体の越谷にぎわいの会に1000円で入会し、通信連絡費として月100円、年1200円で出店できます。プロもアマも一緒に運営します。当会は主に裏方として関わっています。

日野・やまぼうしツアーに19人



農ある街づくりの中で障害者が共に働く取り組みを進めるNPO法人やまぼうし(東京・日野)へ、11月15日、見学・交流の旅。都市化する地域で酪農を続ける農家や新規就農した若者グループとの連携や自治体の支援のありかたについても見てきました。理事長の伊藤さんには、12.18共に働く街を創るつどいで、特別報告とパネルディスカッションにご登場いただきます。お楽しみに。写真は就労移行支援事業のフレンチレストラン「れんげ」。

世一緒NOW

よいしょ ナウ
職場参加ビュロー 世一緒ネット通信 1号

ごあいさつ

世一緒NOW 0号をお届けしてから、たくさんの返信をいただきました。その一部は4ページにのせましたので、ごらんください。

あとは、次号や「職場参加ニュース」(世一緒を運営しているNPO法人障害者の職場参加をすすめる会の会報)に、少しずつ載せていきます。

0号では、ふだん世一緒に来れない働いている人など向けに7月から始めた「たそがれ世一緒」というフリータイムの紹介をしました。伊藤鉄彦さんのマンガは今回も引き続き「たそがれ世一緒」ネタでお届けします。

不思議なひととき。あなたものぞいてみませんか。

「たそがれ管理人」の樋上秀さんが詠んだうたをご紹介します。

生まれつき高齢者のいない街 まだまだできるいつも念仏

最賃をマジックで上げる世一緒かな

マジックに目力返す駒井リカ

こままでにウンザリ出会う福祉カー

分け入っても分け入っても県交渉



次号につづく

2016年11月~2017年1月 カレンダー

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

11月			12月			1月		
日	日中行事	ほか	日	日中行事	ほか	日	日中行事	ほか
1日	火		1日	木	革工芸 たそがれ	1日	日	
2日	水	香金屋、ポスティン共に学ぶ共同研 水辺の市出店会	2日	金		2日	月	
3日	木		3日	土	子ども商店街 ころのアーチ展(〜9日)	3日	火	
4日	金	水上公園世一緒作業	4日	日		4日	水	
5日	土	春日部ふれあい広場 社団理事会	5日	月	求人広告チェック会	5日	木	
6日	日		6日	火		6日	金	
7日	月	水上公園世一緒 ポスティング すすめる会事務	7日	水	当番会議 かつぼ	7日	土	？どよう(新年)世一緒？
8日	火	越谷水辺の市 107の会	8日	木	革工芸 たそがれ 世一緒deキネ	8日	日	
9日	水	ポスティング かつぼ店番事務局会議	9日	金		9日	月	
10日	木	たそがれ 生活クラブと話し 世一緒deキネ	10日	土	ボランティアフェスティバルこしがや テレサ忘年会	10日	火	越谷水辺の市
11日	金	ポスティング 職リハ研発表	11日	日		11日	水	当番会議
12日	土	どよう世一緒	12日	月	水上公園共同作業 すすめる会事務	12日	木	革工芸 たそがれ 世一緒deキネ
13日	日	越ヶ谷浴場まつり	13日	火	越谷水辺の市	13日	金	
14日	月	水上公園共同作業	14日	水	職場参加を語る会	14日	土	
15日	火	秋のデイズ一日野	15日	木	革工芸 ランチカフェでこしや たそがれ	15日	日	
16日	水	職場参加を語る会 耳鼻科除草 PC贈呈会	16日	金	オエwis懇話会	16日	月	求人広告チェック会
17日	木	革工芸 たそがれ 社団事務局会議	17日	土		17日	火	職場参加を語る会
18日	金	水上公園共同作業 高校教育局交渉	18日	日	共に働く街を創るつどい 臨時総会	18日	水	職場参加を語る会
19日	土	食と農林ドリームフェス	19日	月	水上公園世一緒作業	19日	木	革工芸 たそがれ
20日	日	つぐみ共生会理事会	20日	火		20日	金	政治参加ネット来所
21日	月	水上公園共同作業 水上公園世一緒作業？	21日	水	ピアサポート研究会	21日	土	
22日	火		22日	木	革工芸 たそがれ	22日	日	
23日	水	豊沼福祉農園収穫祭？	23日	金	わらじクリスマス会	23日	月	水上公園世一緒作業
24日	木	革工芸 たそがれ	24日	土		24日	火	
25日	金	水上公園世一緒作業 産業フェスタ搬入	25日	日		25日	水	ピアサポート研究会
26日	土	こしがや産業フェスタ 遠志新松のつど	26日	月	求人広告チェック会	26日	木	革工芸 たそがれ
27日	日	こしがや産業フェスタ 就学進学相談会	27日	火		27日	金	産業フェスタ準備日
28日	月	ミーティング	28日	水		28日	土	協働フェスタ
29日	火		29日	木		29日	日	
30日	水	ピアサポート研究会 耳鼻科除草	30日	金		30日	月	求人広告チェック会
			31日	土		31日	火	

○このほか越谷市障害者地域適応支援事業の職場実習に世一緒から2人参加
○週末や祝日には、さまざまな市民行事に参加しています。お手伝いできる方、どうぞご連絡ください。

世一緒 スタッフ日記

なぜ日本人は相対的に?

松丸 和弘

日本人は、どうして人と比べなければ自分の存在を確認できないんだろうか?しかも、相手が自分より、不幸であればある程、快感を感じるようだ。だから、いつまでたっても障害者や、生活保護者への理解が進まないような気がする。
強い者へ向かっていくレジスタンスの気質は、日本では育ちにくいのだろうか?
特に最近では保育園を建てるのでさえ困難があるようだ。皆、自分を通してきた道じゃないのだろうか、あのアダム、スミスでさえ、資本主義(自由主義)は利己の利益の追求であるといっているが、それは共感の心、相手の不利益になることはしないということも付け加えている。
今、日本も世界も後半の部分の共生や道徳心というものをもう一度考え直さなければ、世界は大きな危機と直面するだろう。

わたし

島根 三枝子

私は誰でしょう?わたしですよ。
明るく、わかりやすい性格だと思われがちですが、意外とシャイでなかなかこうおもったのにと、後で悔しいと思う事度々。
メンタル面はかなり弱いです。少しは強くなりたい。いつも病気とたたかっている事を誰かにわかしてもらいたい私がいまいます。

暗い生活を送っています

おまたせ もたこ

今の生活は、なんともいえず、暗い生活を送っています。
先日は、子供の先生に「お母さんが全てぼうがいしている」その他にも、など、さんさん悲しい事を言われ、きかふれたように大声で先生と息子をどなつてしまいました。

家族とのくらし

浅井 武夫

今、わたくしの家族は、母と妹とおばあちゃんと、わたくしと、一緒に暮らしておりますが、ときどきおばあちゃんが、ぐわいがわるいときもあり、ケガもときには、あることもあるので、そのときは母と、妹がいなくて、きは駅前のスーパーマーケット店によって買い物をして、家にかえり自分の仕事着を洗たくをして、家族の物も洗たくをとりこんでいます。

企業で働いています

遠藤 勇氣

企業で働いています。(おかげ様で世一緒の皆様色々とお世話になり、ありがたうございました。おかげ様で自信が付いて来て働いて一年四ヶ月になります。
世一緒に参加させてもらい本当に良かったです。

越谷のまちのうつりかわり

黒田 正己

自分の子供のころは、商店街にいくと、魚や、肉や、八百屋、おもちゃや、プラモデルとか、いろいろあって商店街も人でぎわってて、よくお母さんに買い物をつれて、たのまれた店に行くといふ家族のようにせうしてくれて、学校は楽しいとか、そうゆういろいろ話をしてくれて、駄菓子屋もあって楽しい時間をすごせました。時代のながれとともに、大型のショッピングもうるが出来てから、そうゆう所でもなんでも売ってるし、そこで買い物がほとんどですんでしまうからべんりになっためん、さいきん商店街に行くといふシャッターがしまつてたり、やっける店も二階は自分ですんで一階が店とゆう所が多いです。そのころは、人とかいわもあつたし、楽しい時間すごしてました。今はただ買い物しかかえるぐらいいかかわがなくなつて、本当につまらなくなつてしまいました。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

当会はみなさまの会費と寄付金等により支えられています。どうぞ、ご協力をお願いします。

〒344-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 世一緒内 (ハローワーク斜向かい)

048-964-1819 (fax 共) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp http://www5b.biglobe.ne.jp/~yellow/

二〇一六年十一月 日発行(毎月十二回 二と四と六と八の日) 通巻 第 号
一九九四年八月二十四日第三種郵便承認
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市元郷一・十・十三 頒価二〇〇円

